

令和6年度放課後等デイサービスうつくしくらぶ自己評価表

回答率87.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	88%	12%		4月から活動スペースを一部屋増やし、クールダウンできる場として活用出来て良かった。
	2	職員の配置数は適切であるか	88%	12%		基準はクリアしているが、添乗・送迎・受け入れ時等に人手が足りないと思うこともある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	88%	12%		ハード面的にはベストだと思う。仕切りや目隠し等で個人が集中できる環境が増えると良いと思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	88%	12%		会議には全職員が参加できないことがあるため、理解と情報共有が足りない時もある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88%	12%		①アンケート、または送迎時に直接伺ったり、連絡帳に記載していただいておりますが、朝礼や会議でも再度、細かく伝えてもらえると更にサービスに反映しやすいと思う。 ②自分自身、保護者の意向把握が適格にできていないため、まずはそこからやっていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			①ホームページや広報誌には、目を通すように心がけている。 ②職員自身も、自分たちのサービスを客観的、冷静に判断し直す機会になると共に、施設の「押し」と「努力・改善が必要な部分」を知っていただくきっかけになるので良いと思う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25%	50%	25%	
	8	職員資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			①研修内容を基に支援にどう繋げるのか考えることができる。 ②自分自身を見直すきっかけになっている。積極的に参加していきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	88%	12%		出来てはいると思うが、もっと精度を高めたい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	88%	12%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			会議に参加できない時があるので、申し送りや報告書を確認するように心掛けている。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	63%	37%	子ども達の取り組み、向き不向き等を観察し、出来るだけ楽しく着手できる道具の作成、プログラムの実施を意識している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%	長期休暇の利用時間を活かして、更に個人のニーズに合った療育をしたいと感じる時がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	88%	12%	①朝礼は実施されているが、全職員に情報共有ができていない時もある。 ②申し送り簿は必ず確認するようにしている。 ③もう少しきめ細かい情報交換が必要と思う時がある。管理職に頼り過ぎず意見を出していきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	88%	12%	全職員の勤務時間が同じではないので、必ず打ち合わせができる訳ではないが、可能な職員は当日のうちに振り返りをして、翌日の申し送りに適格に繋げることが大切だと思う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	75%	25%	①日々、心掛けているが、もう少し丁寧に行いたい。 ②気になる点や特記事項等は、日誌や記録に具体的に記録したいと思う。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	50%	50%	以前、ガイドラインについての社内勉強会に参加したが、なかなか実際の業務に反映できていないと感じる。支援内容にどう反映すればよいのか自分でも考えたい。
	20	障害児相談事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	88%	12%	①学校から配布される行事予定や下校時間のお便りを基に送迎の組み立てを行っている。 ②必要に応じて送迎時に先生から申し送りを受けたりしている。 ③必要に応じて管理職が学校と連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	88%	12%	保護者が記入した連絡カードにかかりつけ医について記載があり、緊急時は連絡ができる体制を取ってはいるが、ケースによってはもっときめ細かい連携をしていく必要はあると思う。

保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			必要に応じて認定こども園等で実際にお子さんの様子を観察し、情報共有を行うケースがある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			卒業後の進路となる就労支援事業所、相談員と連携しながら情報提供を行うケースはあるが、全てのケースに対して、必ずしも万全ではないとも感じる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			市や支援相談事業所と、適切に連携出来ているのではないかと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	38%	62%		放課後の居場所作りとして、交流できる場や仕組みを検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			これからも積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	88%	12%		出来ている保護者と、情報伝達が足りない保護者に分かれてしまう。こちらの伝達の仕方にもっと工夫が必要なのかもしれない。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	63%	37%		①必要な知識を身に着け、対応できると良いと感じる。 ②職員がチームとしてペアレント・トレーニングができるレベルなれば、多くの保護者に今以上の支援の提供ができると思う。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			保護者から相談等があった場合、すぐに上司に報告をするよう心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25%	75%		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			適切に、お子さんの様子を保護者にお伝えするよう努力しているが、更に丁寧にやっていると良いと思う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			自分自身も目を通すように心がけている。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			そのつもりで仕事をしている。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			一人一人に対して、常に配慮することを忘れないようにしたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	63%	37%		コロナ前、学校の生徒が研修に来たり、職業体験をやっていた状況に早く戻したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	63%	37%		保護者への周知の仕方に課題があるかと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出しその他必要な訓練を行っているか	75%	25%		コロナ禍前のように、もう少し大規模な訓練が行えるようにと思う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			①研修に積極的に参加していきたい。そして日々の支援でも気を付けていきたい。 ②全てのお子さんを、～さん付けで呼ぶようにしていることは、一つの予防処置として良いことだと思う。
	41	どのような場合にやむ得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	88%	12%		①会議で決まった支援内容が、その後、どのように経過しているのかわからない時があるため、職員の共通理解ができると良いと感じる。 ②全ての職員が同じレベルで認識していければ良い。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	63%	37%		アレルギーについて確認しているが、ケースによっては、もっと踏み込んで確認したほうが良いと思うこともある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	75%	25%		報告書がでたら、その都度、再発防止のために会議で取り上げてほしい。